

# 宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター：宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第11週の発生動向

・ **A型肝炎** (全数把握対象) : 今週 6 例の届出があり、今年 の県内累計は 13 例となった。

A型肝炎年別推移 (宮崎県)

2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年 11週まで
1	1	4	1	2	1	13

・ 定点医療機関からの報告総数は 2,397 人 ( 定点あたり 50.8 ) で、前週比 103% と横ばいであった。前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザと手足口病で、減少した主な疾患は RS ウイルス感染症と咽頭結膜熱であった。

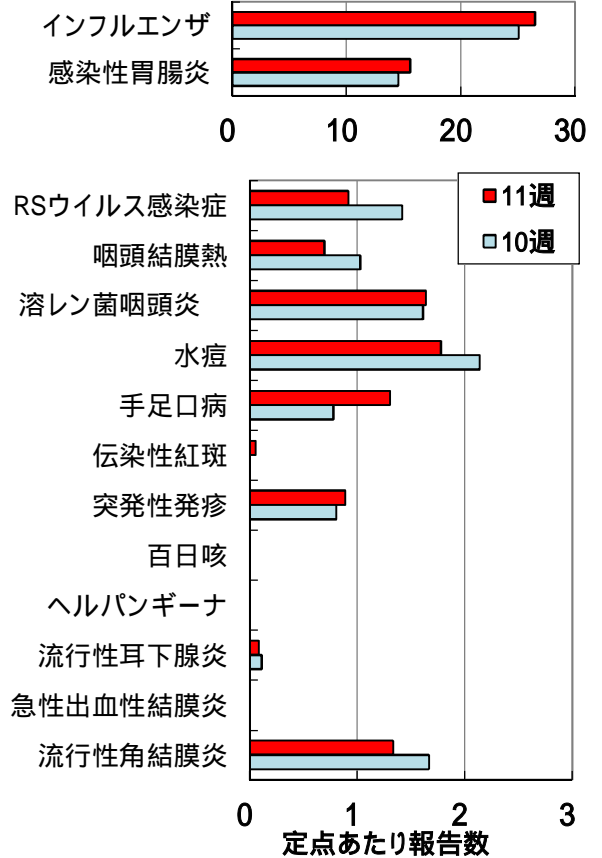
### インフルエンザ・小児科定点からの報告

#### 【インフルエンザ】

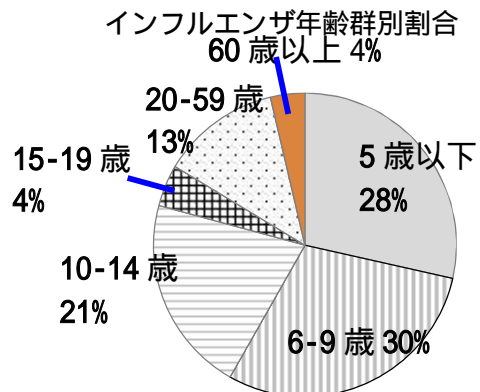
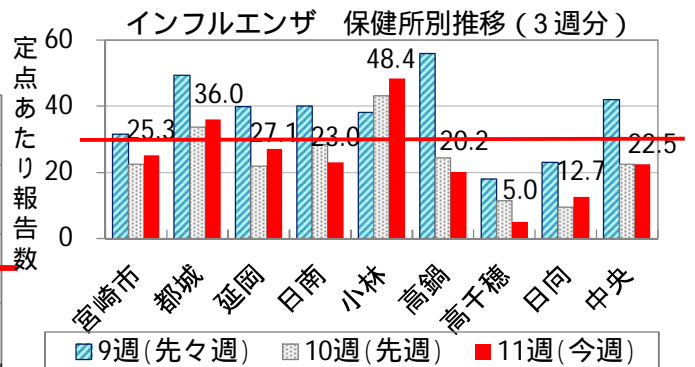
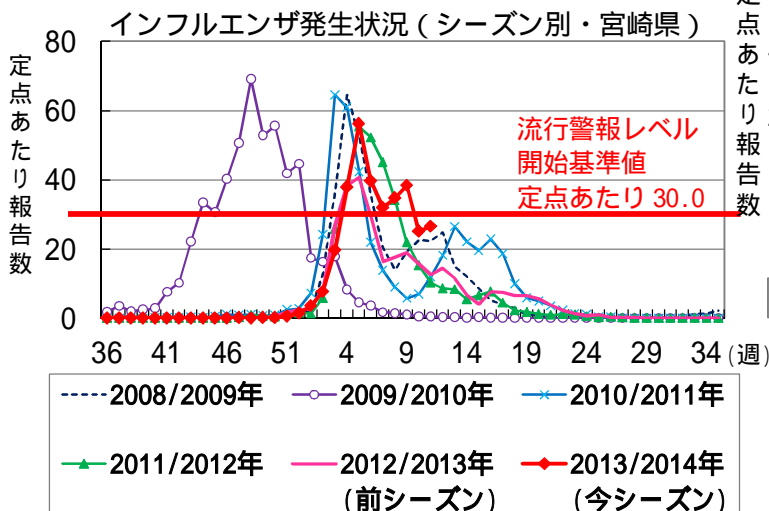
・ 報告数は 1,563 人 ( 26.5 ) で前週比 106% と増加した。例年同時期の定点あたり平均値\* ( 12.3 ) の約 2.2 倍である。小林 ( 48.4 )、都城 ( 36.0 ) 保健所からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 28%、6~9 歳が 30%、10~14 歳が 21%、15~19 歳が 4%、20 歳代~50 歳代が 13%、60 歳以上が 4% を占めた。

\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 ( 計 15 週 ) の平均値

(前週との比較)

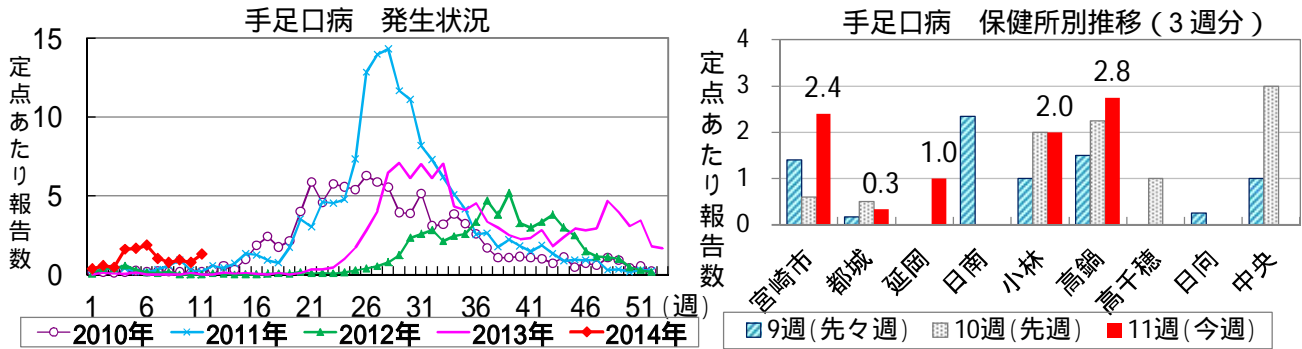


A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



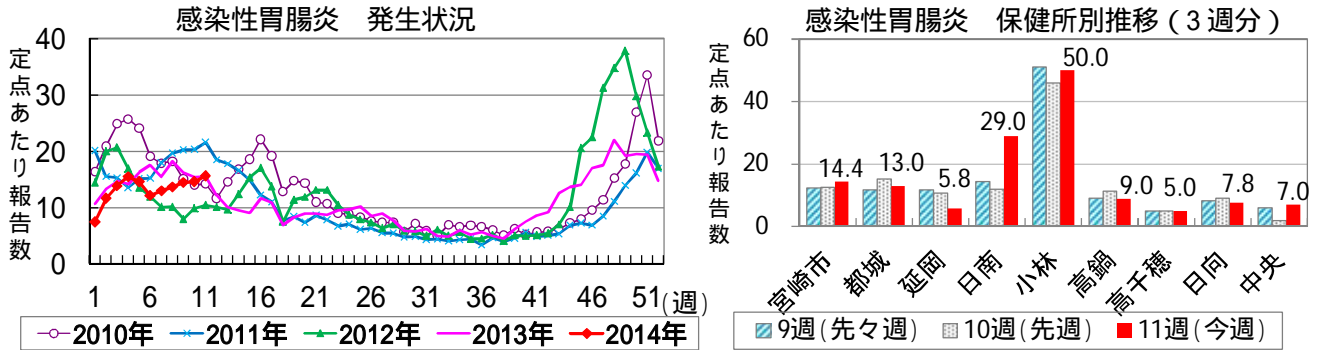
### 【手足口病】

・報告数は47人(1.3)で前週比168%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値\*(0.15)の約9倍で、地域で差があるが多い状態が続いている。高鍋(2.8)、宮崎市(2.4)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から4歳が全体の約9割を占めた。



### 【感染性胃腸炎】

・報告数は561人(15.6)で前週比107%と増加した。第6週以降減少しずつだが増加している。例年同時期の定点あたり平均値\*(14.4)の約1.1倍である。小林(50.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から5歳が全体の約半数を占めた。



### 流行警報レベル開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報レベル開始基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	インフルエンザ(36.0)
延岡	なし
日南	感染性胃腸炎(29.0)
小林	インフルエンザ(48.4)、感染性胃腸炎(50.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

\* 流行警報レベル開始基準値 \*

- ・インフルエンザ(30.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)

### 全数把握対象疾患 (11週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症： 報告なし。
- 2類感染症： 結核 8例。
- 3類感染症： 報告なし。
- 4類感染症： E型肝炎 1例、A型肝炎 6例。
- 5類感染症： 報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	病型	症状
2類	結核	宮崎市	8 か月	無症状病原体保有者	-
			30 歳代	無症状病原体保有者	-
			70 歳代	その他の結核 (結核性胸膜炎)	咳、痰、呼吸困難
			90 歳代	肺結核	咳、痰、発熱
		都城	70 歳代	肺結核	咳、痰、発熱、胸痛、呼吸困難
		延岡	60 歳代	無症状病原体保有者	-
			70 歳代	肺結核	-
		高鍋	80 歳代	肺結核	呼吸困難、胸水
4類	E 型肝炎	宮崎市	80 歳代	患者	全身倦怠感、食欲不振、肝機能異常
	A 型肝炎	宮崎市	50 歳代	患者	全身倦怠感、発熱、食欲不振、肝機能異常
			50 歳代	患者	全身倦怠感、食欲不振、黄疸、肝腫大、肝機能異常
		延岡	20 歳代	患者	発熱、黄疸、肝腫大、肝機能異常
		日南	40 歳代	患者	全身倦怠感、発熱、食欲不振、黄疸、肝機能異常
			50 歳代	患者	全身倦怠感、発熱、食欲不振、肝機能異常
		小林	20 歳代	患者	全身倦怠感、食欲不振、黄疸、肝機能異常、風邪様症状

## 全国第 10 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 35.1 で、前週比 86%と減少した。今週大きく増加した疾患はなかった。減少した主な疾患はインフルエンザであった。

インフルエンザの報告数は 113,410 人 (22.9) で、前週比 81%と減少した。宮城県 (39.0)、福井県 (38.9)、岩手県 (37.9) からの報告が多く、年齢別では、5 歳以下が全体の 27%、6~9 歳が 30%、10~14 歳が 20%、15~19 歳が 3%、20 歳代~50 歳代が 16%、60 歳以上が 4%を占めた。

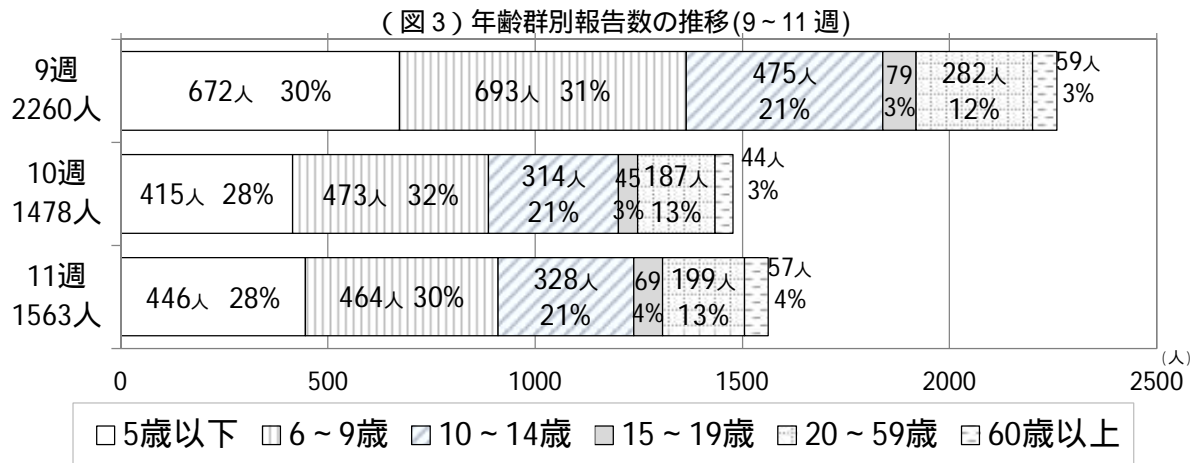
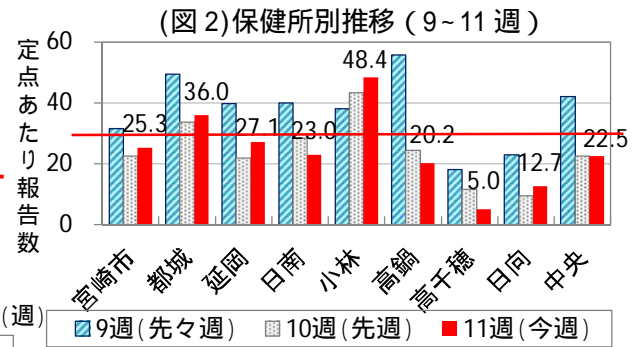
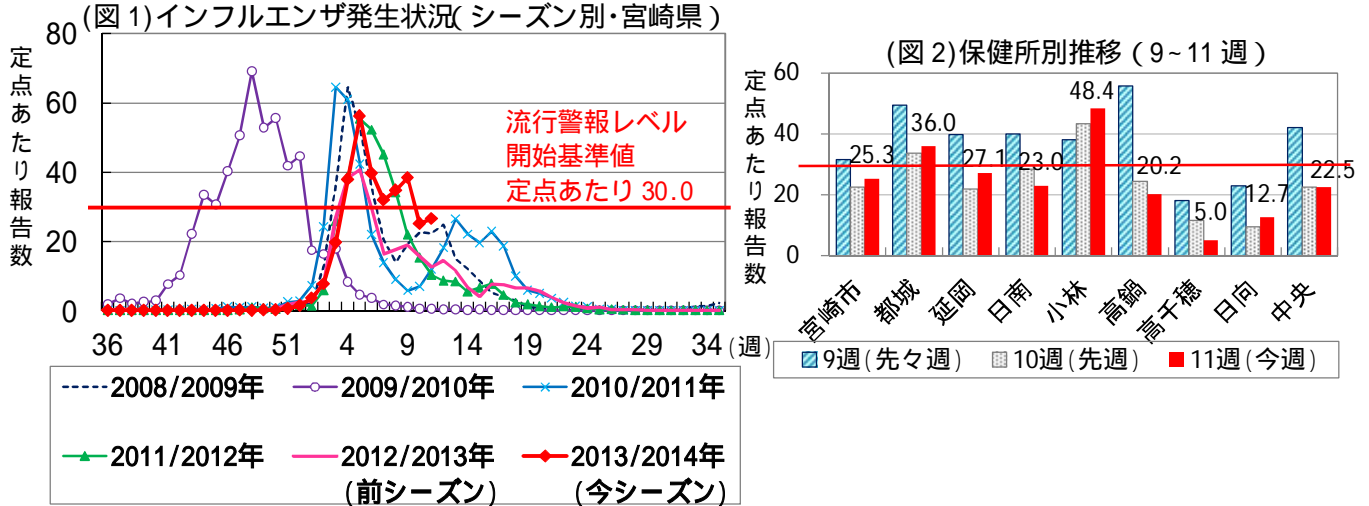
### 全数把握対象疾患 (全国第 10 週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	367 例				
3類感染症	細菌性赤痢	3 例	腸管出血性大腸菌感染症	5 例	腸チフス	2 例
4類感染症	E 型肝炎	3 例	A 型肝炎	48 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例
	ブルセラ症	1 例	ボツリヌス症	1 例	レジオネラ症	14 例
5類感染症	アメーバ赤痢	10 例	ウイルス性肝炎	2 例	急性脳炎	8 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4 例	後天性免疫不全症候群	23 例
	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	20 例	梅毒	14 例	破傷風	1 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	風しん	6 例	麻しん	23 例

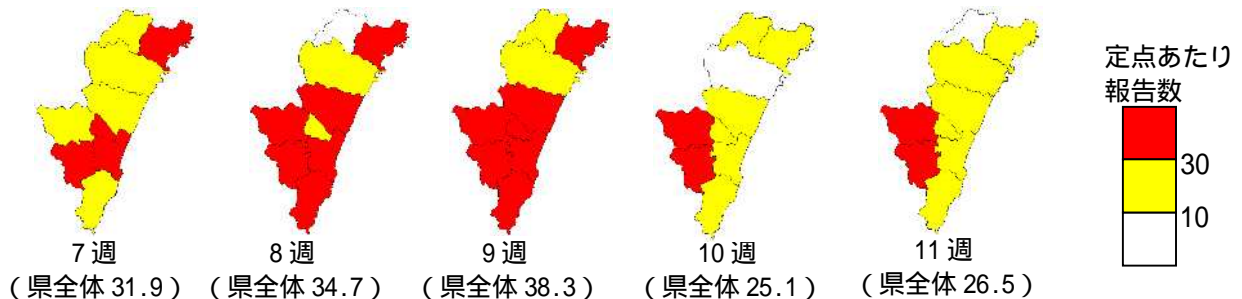
# インフルエンザ情報《県内第 11 週、全国第 10 週（再掲）》

## 県内第 11 週インフルエンザ発生動向

平成 26 年 3 月 10 日～3 月 16 日までの 1 週間で 1,563 人（定点あたり 26.5）の報告があり、前週の約 1.1 倍に増加した（図 1）。例年同時期の定点あたり平均値（12.3）の約 2.2 倍である。保健所別報告数の推移を（図 2）、年齢群別報告数の推移を（図 3）に示す。



## 保健所別インフルエンザ警報・注意報レベル状況 2014 年 第 7～11 週



## 全国第 10 週インフルエンザ発生動向

平成 26 年 3 月 3 日～3 月 9 日までの 1 週間で 113,410 人（定点あたり 22.9）があり、前週比 81%と減少した。宮城県（39.0）福井県（38.9）、岩手県（37.9）からの報告が多く、年齢別では、5 歳以下が全体の 27%、6～9 歳が 30%、10～14 歳が 20%、15～19 歳が 3%、20 歳代～50 歳代が 16%、60 歳以上が 4%を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2014年 第11週(03月10日～03月16日)

疾病名		第10週	第11週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1478	1563	404	360	190	115	242	121	10	76	45
	定点あたり	25.05	26.49	25.25	36.00	27.14	23.00	48.40	20.17	5.00	12.67	22.50
RSウイルス 感染症	報告数	51	33	2	2	15		1			13	
	定点あたり	1.42	0.92	0.20	0.33	3.75	0.00	0.33	0.00	0.00	3.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	37	25	8	2	8	5	1			1	
	定点あたり	1.03	0.69	0.80	0.33	2.00	1.67	0.33	0.00	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	58	59	14	6	26	3				10	
	定点あたり	1.61	1.64	1.40	1.00	6.50	1.00	0.00	0.00	0.00	2.50	0.00
感染性胃腸炎	報告数	523	561	144	78	23	87	150	36	5	31	7
	定点あたり	14.53	15.58	14.40	13.00	5.75	29.00	50.00	9.00	5.00	7.75	7.00
水痘	報告数	77	64	14	15	7	7	8	12		1	
	定点あたり	2.14	1.78	1.40	2.50	1.75	2.33	2.67	3.00	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	28	47	24	2	4		6	11			
	定点あたり	0.78	1.31	2.40	0.33	1.00	0.00	2.00	2.75	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数		2	2								
	定点あたり	0.00	0.06	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	29	32	5	6	4	3	4	7		2	1
	定点あたり	0.81	0.89	0.50	1.00	1.00	1.00	1.33	1.75	0.00	0.50	1.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	4	3	1	1							1
	定点あたり	0.11	0.08	0.10	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜 炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	報告数	10	8	7		1						
	定点あたり	1.67	1.33	2.33	0.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺 炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点当り報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2014年第1週～11週)

2類感染症	結核	37例(8)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2例				
4類感染症	E型肝炎	1例(1)	A型肝炎	13例(6)	重症熱性血小板減少症候群	3例
	つつが虫病	5例	ボツリヌス症	1例	レジオネラ症	1例
5類感染症	アメーバ赤痢	3例	ウイルス性肝炎	1例	急性脳炎	4例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	後天性免疫不全症候群	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	1例
	梅毒	2例	破傷風	1例	麻しん	3例

( )内は今週届出分、再掲